

事業№	事業名	道路維持費				担当部署	部名	都市整備部
							課名	道路・河川管理課
140							電話	52-7394
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 4 部 快適で安心して暮らせるまち					款	土木費
	政策名(章)	第 2 章 快適で利便性の高いまちづくり					項	道路橋梁費
	施策名(節)	第 4 節 地域をつなぐ道路網の整備					目	道路維持費
実施計画掲載		無	頁	個別計画				
根拠法令・要綱等		道路法第42条						

事業目的	対象	誰を・何を	全市民及び道路利用者
	意図	どのような状態に	道路を適正に維持管理することで、道路を利用する歩行者及び車両が、安全で快適な道路環境を得られるようにする。
事業内容	手段	どのような方法で	・道路舗装補修 ・道路側溝・構造物等補修 ・道路清掃・除草 ・街路樹維持管理

補助金	類型区分			
	補助内容	補助区分	内容(基準単価・補助率等)	上限額

施設管理運営	施設名			管理形態	
	構造・階数			指定管理者名	
	建築年度		改修年度	類似施設状況	
	耐震の有無		延床面積	民間施設状況	
	設備・規模				

施設等整備	総事業費	186,461 千円	財源内訳(千円)	国庫支出金	70,000	県支出金	3,500	市債		その他	3	一般財源	112,958
	整備内容	平成21年度		平成22年度		平成23年度							
		・舗装補修 28.4t ・道路維持工事件数 151件		・舗装補修 52.0t ・道路維持工事件数 190件		・舗装補修 30.0t ・道路維持工事件数 170件							

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業№	事業名	道路維持費	担当部署	部名	都市整備部
140			課名	道路・河川管理課	
			電話	52-7394	

指標名	単位	H21年度実績	H22年度			H23年度目標		
			目標	実績	達成率			
活動指標	道路補修工事件数	件	151	170	111.8	170		

事業費・人件費	事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
	事業コスト	直接事業費	260,199 千円	194,278 千円	▲ 25.3	165,401 千円
		人件費	18,360 千円	18,360 千円	0.0	18,360 千円
		退職手当引当金相当額	2,700 千円	2,700 千円	0.0	2,700 千円
		事業コスト計	281,259 千円	215,338 千円	▲ 23.4	186,461 千円
	財源内訳	国県支出金	139,942 千円	104,284 千円	▲ 25.5	73,500 千円
		その他	30,133 千円	5 千円	▲ 100.0	3 千円
		一般財源	111,184 千円	111,049 千円	▲ 0.1	112,958 千円
		当該事務従事職員数	2.70 人	2.70 人	0.0	2.70 人
		利用者1人当たりコスト	—	—		
		うち一般財源ベース分	—	—		

評価項目	点数	説明
妥当性	4	道路法第42条で、道路管理者は道路を常時良好な状態に保つよう定められており、総延長810kmの市道の維持管理及び修繕は、道路利用者が安全で快適に道路を利用するため必要な事業である。
有効性	4	道路の損傷を速やかに補修することによって、事故を未然に防ぎ、安全な道路環境を確保することができる。
達成度	3	要望や通報・パトロールによる補修、改修が必要な箇所は多数あるが、緊急性の高い箇所から順次、重点的に整備を行っている。
効率性	3	道路パトロールを民間委託するなど、経費と時間の削減を図り、現行の人員で市民のニーズに迅速、的確に対応し、道路の損傷を小さくしながら補修して、維持補修コストを削減する。

評価結果 (1次)	A	現行 (計画) どおり事業を進めることが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント	
引き続き、適正な道路の維持管理と迅速な補修に努め、安全で快適な道路環境の確保に努める。				

事業№		道の駅維持管理費				担当部署	部名	都市整備部
事業名							課名	道路・河川管理課
141						電話	52-7392	
事業期間		開始年度	平成10年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第4部 快適で安心して暮らせるまち				款	土木費	
	政策名(章)	第2章 快適で利便性の高いまちづくり				項	道路橋梁費	
	施策名(節)	第4節 地域をつなぐ道路網の整備				目	道路維持費	
	実施計画掲載	無	頁	個別計画				
根拠法令・要綱等		道の駅新湊条例						

事業目的	対象	誰を・何を	全市民・道路利用者
意図	設置目的	・安全で快適な交通環境の確保、疲労運転の防止。 ・交通、気象、地域観光等の情報提供。	
事業内容	手段	主な活動	道路利用者のための休憩、情報発信機能及び地元海産物、農産物の特産品販売等。

補助金	類型区分				
	補助区分	内容（基準単価・補助率等）	上限額		
	補助内容				

施設管理運営	施設名	道の駅新湊	管理形態	指定管理
	構造・階数	鉄筋コンクリート造平屋建て	指定管理者名	株式会社 道の駅新湊
	建築年度	平成 10 年度	改修年度	年度
	耐震の有無	有	延床面積	978.96 m ²
	設備・規模	施設：敷地面積25,700m ² 、建築面積1,317m ² （駐車場、トイレ、休憩施設、情報案内、物産販売、レストラン） 設備：受変電設備、給排水設備、空調設備、電気設備等		

施設等整備	総事業費	財源内訳（千円）	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	平成21年度	平成22年度	平成23年度				
	整備内容						

その他	特記事項等	平成18年9月から指定管理により管理運営されている。 現在、(株)道の駅新湊が指定管理者となり、二期目の指定期間に入っている。 (平成22年4月1日から平成25年3月31日まで)
-----	-------	---

事業№	事業名	道の駅維持管理費	担当部署	部名	都市整備部
141			課名	道路・河川管理課	
			電話	52-7392	

	指標名	単位	H21年度実績	H22年度			H23年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
成果指標	利用者数 ※設定できる場合 (利用者数)	人	794,460	1,000,000	1,009,401	100.9	1,000,000	1,000,000	100.0
活動指標	開館日数	日	365	365	363	99.5	366		

事業費・人件費	事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
	事業コスト	直接事業費	14,056 千円	13,913 千円	▲ 1.0	15,753 千円
		人件費	544 千円	544 千円	0.0	544 千円
		退職手当引当金相当額	80 千円	80 千円	0.0	80 千円
		減価償却費相当額	7,482 千円	7,482 千円	0.0	7,482 千円
		事業コスト計	22,162 千円	22,019 千円	▲ 0.6	23,859 千円
	財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円
		施設使用料	8,545 千円	8,085 千円	▲ 5.4	7,656 千円
		その他	4,241 千円	4,441 千円	4.7	3,984 千円
		一般財源	9,376 千円	9,493 千円	1.2	12,219 千円
	当該事務従事職員数		0.08 人	0.08 人	0.0	0.08 人
	利用者 1 人当たりコスト		0.03 千円	0.02 千円	▲ 21.8	
	うち一般財源ベース分		0.01 千円	0.01 千円	▲ 20.3	

評価項目	点数	説明
必要性	4	道の駅は、サービスの対価が徴収できない施設であるが、道路交通の円滑な流れを支える休憩機能や地域の文化、名所、特産物などの情報発信機能により、交流人口の増加が図られる。
有効性	4	地域とともにつくる個性豊かなにぎわいの場として、年々利用者が増加している。隣接する「新湊博物館」、「新湊農村環境改善センター」との機能連携により有効性が高まる。
達成度	4	成果指標において、目標値を達成し、次年度の目標に向け順調に推移している。
効率性	4	継続した指定管理によるコスト削減が見られる。

評価結果 (1次)	A	現行どおり管理運営を行うことが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント	
引続き、指定管理による効率的な管理運営を推進し、道路利用者や市民のための各種情報発信を行っていく。				